

「イチゴ栽培」における ナノバブル水(根活)栽培試験

神奈川県某研究機関の協力により、ナノバブル水の「イチゴ栽培試験」を行いました。

【条件】

品種：とちおとめ

期間：2017年9月 8日～2018年 1月6日

灌水：150～200ml/毎日

1花房当たり5花になるように摘花した

【結果】

(4～8株の平均値)

ナノバブル水投与間隔 (追肥間隔)	果実重 (gr)	糖度 (° Brix)	収穫日数 (日)
2日間隔で投与 (7日一度)	8.05	10.9	24.3
7日間隔で投与 (7日一度)	9.46	10.3	28.0
14日間隔で投与 (7日一度)	8.39	10.4	23.7
投与せず (7日一度)	7.77	10.7	29.8

【ナノバブル水の効果結果および考察】

- ① 果実重は重くなり、収穫日数が短縮される。
⇒肥大効果、促進効果
- ② 肥料の吸収が促進されると考えられる。
⇒養液との併用が効果的
- ③ 間隔を空けず、連続投与した方が効果が大きいと考えられる。
⇒灌水毎の投与が効果的